

IDT輪読 第5部 多様な場面での動向と課題  
19章:軍事教育・訓練環境におけるIDの機会

- 本章は軍隊のための研修訓練教材を開発するIDerの役割と責任に関しての洞察を得るのに役立つだろう(※)
- 軍の活動内容: 戦闘だけではない
- 軍隊での訓練の特殊性: 任期の影響、訓練が業務、文化・制約
- 軍のニーズと個人のニーズ
- 軍の変化と責任:
  - 国家→国際、異文化間・世界中での後方支援
  - 国家軍・多国籍軍としての国際的責任
  - 多様化するテクノロジーの適用
- 将来ビジョン: 高度分散学習・多様性・生涯教育
- IDerとしての課題



# 米軍についての前提知識

## 米軍の構成

Component	Military	Enlisted	Officer	Male	Female	Civilian
United States Army	541,291	438,670	98,126	465,784	75,507	299,644
United States Marine Corps	195,338	173,474	21,864	181,845	13,493	20,484
United States Navy	317,237	260,253	52,546	265,852	51,385	179,293
United States Air Force	333,772	265,519	64,290	270,462	63,310	174,754
United States Coast Guard	42,357			35,567	6,790	7,057
<b>合計</b>	<b>1,429,995</b>	<b>1,137,916</b>	<b>236,826</b>	<b>1,219,510</b>	<b>210,485</b>	<b>681,232</b>

- 軍の構成
- 任期
- 軍の活動内容
- さまざまな職種
- 参考: 自衛隊

区分	陸上自衛隊	海上自衛隊	航空自衛隊	統合幕僚監部等	合計(※)
定員	151,063	45,517	47,097	3,495	247,172
現員	136,573	42,007	42,733	3,213	224,526
充足率 (%)	90.4	92.3	90.7	91.9	90.8

  

区分	非任期制自衛官				任期制自衛官
	幹部	准尉	曹	士	士
定員	45,417	4,936	141,061		55,758
現員	43,048	4,496	138,626	21,785	16,571
充足率 (%)	94.8	91.1	98.3	-1,393	68.8

## 軍の活動内容

- 戦闘行為は軍の仕事の一部  
平和維持活動、対テロ作戦、  
情報活動、国民教育、  
学術研究、技術開発・・・
- \* 異文化間・後方支援訓練  
の需要が増加

2013年最も売れたクラシックのアルバムは、  
海上自衛隊東京音楽隊/三宅由佳莉  
『祈り～未来への歌声』

<http://topics.jp.msn.com/entertainment/music/article.aspx?articleid=3482667>

パイロット  
ナビゲーター  
給養員  
消防員  
救難員  
救命装備員  
ロードマスター  
燃料員  
ヘリコプター整備員  
エンジン整備員  
飛行管理員  
電気員  
音楽員  
高射操作員  
薬剤幹部  
航空自衛隊公式サイトより



## 軍隊での訓練の特殊性

- 訓練は仕事の一部
  - 訓練実施環境が変化する→訓練教材はあらゆる環境に対応する必要
- 資金
- 多様性: 仕事の多様性
- 異文化: 多国籍軍、多民族
- 変化への対応: 新しいテクノロジー
- 場所: 教室、基地、前線



## 文化的配慮に基づいた教育設計の例

- 陸軍で働く料理人のための教室型研修を CBTにする。
- クライアントの料理人の人種構成:ヒスパニック系、ラテンアメリカ系が多かった
- 「コンピュータ経験が少ない」という文化に配慮した教育設計を行うことで、学習成功可能性を高める。



# テクノロジーの適用

- 紙媒体から精巧なシュミレーターまでIDerが活用できるテクノロジーは多様化
- 新しいテクノロジーは、すべての領域・ビジネス・家庭の中に存在する。テクノロジーは敵も利用可能。
  - 非合法的アクセスを防ぐための対策
    - セキュリティで保護されたネットワークの使用
    - 応用ソフトウェアの数を制限
- IDerは、これらを考慮しながら教材の設計をする必要がある。



## 軍事教育の将来構想

- 高度分散学習
  - 「個人のニーズに適合した最高品質の教育と訓練へのアクセスを、いつでもどこでも費用効率よく提供する」ための政府・政界・学会の協同的な取り組み
  - 米国、カナダ、ドイツ、韓国、ラテンアメリカ・カリブ海諸国、ノルウェー、ルーマニア
- 国内・国際的な合同訓練
  - 米国とその同盟国軍が協業して、合同戦闘技術を強化するために開発された訓練教材を用いて、共同で訓練を行う。IDのミッションは、多様性の認識(軍の全体像、基本外交政策、文化的多様性)
- 生涯教育
  - 軍として必要以上の教育



## 軍隊のニーズと個人のニーズ

- 軍隊のニーズ
  - 資金、テクノロジー、実施環境の制約下での効果的な教育の実施
- 個人のニーズ
  - 任期終了後のキャリア
  - 入隊することのメリット・魅力





## 軍隊の環境で働くIDerの課題

- 効果のない教育は悲惨な結果をもたらす可能性があるという認識
- 個人の関心を考慮しつつも軍のニーズに対応した訓練の開発
- 絶えず変化する環境に即した設計
- 変化に適応する能力より急速に技術が進化している場合の技術の賢い活用
- 軍隊に対する個人の役割と関連性(連邦政府職員か契約者か)によって決定される責任
- 他の研修成果物あるいは実施環境へ再利用される可能性のある個別プロジェクトの設計



# 本章の構成

- 軍の文化とその文化における教育設計・開発の役割
  - 軍の役割と責任の変化、将来動向
- 軍の課題
  - 資金調達、技術的な範囲、実施環境、設計上の制約、人材、訓練方法の代替案
- 軍の将来ビジョン
  - ガイドとなる文書、長期計画、高度分散学習(ADL)、統合、生涯教育
- 軍で仕事をするIDerの役割
  - シナリオ1: 学位取得と配属、シナリオ2: 合同訓練 米国部隊
- 結論

